

みなまた環境まちづくり推進事業「観光と公共交通円卓会議」

第3回 中心市街地活性化分科会

2011・12・15(木)
全員協議会室AB

1) 中心市街地活性化に向けた検討内容に関連した意見

⇒第4回分科会で検討

検討内容	例	ソフト	ハード
(1) 医療センターを玄関口と位置つけた商店街との連携方策	医療センター内の公共空間活用や来院者を商店街に誘導する方策	■ パーク&ウォーク 中心市街地まで車で来て、駐車場に停め、歩いてまわれる仕組み (病院への来院者を市街地へつなげていく)	■ 循環バス 医療機関の来院者が商店街で買い物をして帰れるような循環バス等の仕組み
		■ 病院内の売店と商店街の連携 病院内の売店との連携。市立病院に商店街(地域の卸・小売業)が商品を卸す	
		■ 公共施設と商店街の連携 人の集まる病院や市役所に商店主がものを持ち込んで売る(軽トラ市等)	
(2) 商店街の空き店舗等を活用した多世代コミュニティ拠点形成策	空き店舗を活用した障がい者・高齢者・子育て世代等のニーズをくみ取った多世代コミュニティ拠点の形成等	■ 空き店舗の活用 空き店舗の活用は必ずしもモノを売る場所である必要はなく、診療所、デイサービス、マッサージ施設、NPO事務所、塾など、「ついで」を作る施設でもよい	
(3) 公共交通活用による中心市街地活性化策	公共交通機関と医療センターや商店街等との共通カード導入策等	■ 公共空間としての中心市街地の認識 中心市街地が「みんなの空間」であることを共通認識として持つ	■ 自転車道等の整備 車と自転車が安全に共存できる道路の整備
		■ 高齢者向け配達システム 高齢者が大きな荷物を購入した時に、自宅まで届けるシステムを商店街と交通(タクシー、バス等)との連携で構築	

2) 中心市街地活性化に向けたその他の意見

マクロ的取り組み

● 人口減少を食い止める施策

利用者・利用目的ごとに整備し、便益の受益者がそのコストを負担する仕組みを構築する必要あり

<例>

● 公共交通の整理

- ・お買い物バス ……商店がお金を出して、自分のところに停まるルート
- ・病院バス ……病院がお金をだして、患者の輸送を行う
- ・中心市街地のバス……中心市街地を循環する
- ・山間地バス ……山間地の住民が回りたいルートで運行
- ・観光客向けのバス

人口減少している地域に住んでいる人も公共交通を使いやすくする仕組みの構築

● 水俣の魅力向上

水俣に人を呼ぶために、水俣に住む理由、魅力を打ち出す必要がある

ミクロ的取り組み

⇒第3回分科会で検討

● 商店街の魅力向上

交流人口が増加した場合の受け皿としての個店・商店街の魅力向上
顧客に感謝されるお店づくり

● 買い物難民対策

商店街と市内各地の集落がうまく連携して、買い物の宅配等に取り組む

● 攻めの商売

商店街以外の地域に売りに行く

3) 中心市街地活性化に向けたミクロ的取り組み(1)

ソフト

ハード

3) 中心市街地活性化に向けたミクロ的取り組み(2)

検討内容	例	ソフト	ハード
(1) 医療センターを玄関口と位置づけた商店街との連携方策	医療センター内の公共空間活用 や来院者を商店街に誘導する方策		
(2) 商店街の空き店舗等を活用した多世代コミュニティ拠点形成策	空き店舗を活用した障がい者・高齢者・子育て世代等のニーズをくみ取った多世代コミュニティ拠点の形成等		
(3) 公共交通活用による中心市街地活性化策	公共交通機関と医療センターや商店街等との共通カード導入策等		
(4) 上記以外の活性化具体策	各個店の魅力向上		

Q1：商店街に望むもの

-2011/11実施-



